

令和7年度 事業報告書

社会福祉法人ながのこころ

社会福祉法人ながのコロニー 令和 7 年度 事業報告書

○ 利用者数の状況

- ・ 入所利用者数は、前年度と比較して 2 人減少した。
- ・ 通所利用者数は、前年度と比較して 2 人増加した。新規に 7 人が利用を開始したが 5 人が退所した。
- ・ 就労継続支援 A 型の利用者は、縫製 1 人を採用し、印刷 2 人、縫製 1 人が退職した。

(単位:人)

区 分		定員	R7.3.31 現在	入所	退所	R8.3.31 現在
ワークサポート 篠ノ井	施設入所支援	30	18		3	15
	生活介護	30	40	3	4	39
	就労継続支援 B 型	20	19	2	2	19
ハートフル五明	施設入所支援	30	19	4	3	20
	生活介護	30	19	4	3	20
はあてい若槻	生活介護	15	9		1	8
	就労継続支援 B 型	25	27	2	1	28
地域生活支援センター	共同生活援助	6	5			5
長野福祉工場	就労継続支援 A 型	40	40	1	3	38
計		226	196	16	20	192

※R7.6.1 はあてい若槻（生活介護）の定員を 15 人に変更

R7.10.1 ワークサポート篠ノ井（施設入所支援・生活介護）の定員を 30 人に変更

R7.10.1 ハートフル五明（施設入所支援・生活介護）の定員を 30 人に変更

○ 職員の状況

- ・ 福祉施設部門では、R7. 4. 2～R8. 4. 1 までの間に、退職者 13 人に対し 10 人採用した。
- ・ 福祉工場では、利用者以外の職員の退職者 1 人に対して採用はなかった。

(単位:人)

区 分	R7.4.1 採用	R7.4.1 現在	4.2～ 3.31 採用	人事 異動 (内部)	4.1～ 3.31 退職	R8.4.1 採用	R8.4.1 現在
総務部	1	7			1		6
ワークサポート篠ノ井		16	3		2		17
ハートフル五明		18	3	-1	3		17
はあてい若槻		13			2	1	12
あいくる		2		1	1		2

すまいる		7	1		3	1	6
地域生活支援センター		4	1		1		4
長野福祉工場		25			1		24
長野福祉工場(利用者)		40	1		3		38
計	1	132	9		△17	2	126

※兼務は、主たる事業所で人数に入れる。(ワークサポート篠ノ井は理事長含む。)

※R8.4.1 現在の人数には、R8.4.1 付け採用数が含まれている。

○ 経営概況

- ・ ワークサポート篠ノ井は、利用人数の減少等により障害福祉サービス等事業収益は減少し、サービス活動収益計も前年度比減となった。当期活動増減差額は前年比 1,143 万円悪化し、1,285 万円の赤字となった。
- ・ ハートフル五明は、利用人数の減少等により、サービス活動収益計は前年比減となった。当期活動増減差額は前年比 910 万円悪化し、1,709 万円の赤字となった。
- ・ はあてい若槻は、障害福祉サービス等事業収益で増収となり、サービス活動収益計は前年比増となった。当期活動増減差額は前年比 210 万円良化し、155 万円の黒字となった。
- ・ 長野福祉工場の就労支援事業は、人員配置の見直しや機械設備の更新等作業効率の向上を図ることによって、印刷事業が増収増益で黒字に転換し、縫製事業が前年度の反動で減収減益となったが引き続き大幅な黒字を維持できたことから 3,594 万円の黒字となった。また、障害福祉サービス等事業は、雇用調整金の減額により減収減益となったが 559 万円黒字となった。工場全体の当期活動増減差額は前年度比 702 万円良化し 4,153 万円の黒字となり、工賃変動積立金及び設備等整備積立金を積み立てることができた。
- ・ 法人全体として、施設の要であるワークサポート篠ノ井及びハートフル五明が利用者減により大幅に収益が減少したことに加え、最低賃金の上昇等による人件費の増加や諸物価高騰による諸経費の増加及び建物等の経年劣化等による修繕費の増加等により、法人の収益がかなり圧迫された。しかし、長野福祉工場、はあてい若槻及び放課後等デイサービスすまいるの増収により、当期活動増減差額は前年度比 363 万円悪化したが、160 万円の黒字を確保することができた。

I 法人本部（総務部）

1 社会情勢や利用者ニーズの変化への対応

- ・ 行政からの通知、各種出版物、報道、法人事業の統計などの情報を収集し、利用者の意向に対応したサービスの提供に努めた。
- ・ 収支動向を注視し、経営基盤の安定化に努めた。

2-1 感染症の対策

- ・ インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症等への対策として、マスク着用、体温測定、手指消毒を継続するとともに、嘱託医の協力を得て、篠ノ井施設において 65 才以上の入所利用者を中心に、ワクチン接種を行った。
- ・ 「ながのコロニー感染対策指針」に基づき、全職員を対象に研修・訓練を実施した。感染対策委員会を年 4 回開催するとともに、各事業所の感染対策指針及び新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（BCP）について、逐次、確認し必要に応じ更新を行っている。
- ・ 利用者及び職員に対しインフルエンザ及び新型コロナウイルス予防接種への補助制度を継続実施し、感染症対策の強化を図った。

2-2 災害等の対策

- ・ 5 月 23 日 篠ノ井施設、5 月 30 日 はあてい若槻と長野福祉工場で春季防災訓練を実施した。
- ・ 10 月 8 日 はあてい若槻と長野福祉工場、10 月 15 日 篠ノ井施設で秋季防災訓練を地元防災役員等の参加を得て実施した。また、10 月 17 日 グループホームせはらだで防災訓練を実施した（うわのほ〜むは 9 月 28 日地区防災訓練に参加）。
- ・ 9 月 6 日 伝達用メーリングリストを整備し、全職員を対象に災害時連絡訓練を実施した。
- ・ 「自然災害発生時における業務継続計画（BCP）」について、逐次、確認し必要に応じ更新を行っている。

3 地域住民との交流機会の拡大

- ・ 11 月 22 日ワークサポート篠ノ井で「ワークフェス」を開催した。保育園児や小学生による歌の発表、キッチンカーの販売やお菓子釣りの出店などに、多くの地域住民が訪れ賑わった。
また、各施設でお花見や新年会など季節ごとの行事、食事、スポーツ、芸術鑑賞など外出レクリエーションを実施した。
- ・ 広報誌ながのコロニー第 24 号を発行した。
- ・ 法人のホームページを通じて、情報発信を行った。

4 健康で働きやすい職場環境

- ・ 職員を対象に定期健康診断とストレスチェックを実施するとともに、全職員の対象にメンタルヘルス研修会やハラスメント研修会を開催するなど、心身の健康づくりや活気ある職場づくりに取り組んだ。
- ・ 深夜業務従事職員に年 2 回の健康診断を実施した。
- ・ 新規採用職員を対象とした雇入時健康診断、深夜業務従事職員を対象とした特定業務従事者健診、パートタイム勤務職員を対象とした結核健診(胸部 X 線健診)を実施した。

- ・ 安全衛生委員会（福祉工場）及び衛生委員会（篠ノ井施設）を毎月開催し、職場巡視等を行うとともに、安全衛生年間計画に基づく活動に取り組んだ。
- ・ 車両の整備、アルコールチェックの義務化など、車両管理規定に基づき事故防止等に努めた。

5 職員の資質向上

- ・ 職員研修実施要領に基づき、外部の研修会・講習会への参加や動画視聴などオンライン研修を中心とした職場研修を実施した。
- ・ ゼンコロ加盟法人との連携や活動への協力を行った。

6 長期的かつ安定的な人材確保

- ・ 入所事業一元化を見据え、適材適所・適正人員の配置を行いつつ、欠員補充のため正規職員を採用した。
- ・ 令和 7 年 9 月、キャリアパスに対応するため、施設管理職員の処遇改善手当支給基準を改正した。また、10 月に県の最低賃金の引き上げに伴い、パート職員の賃金改定を行った。
- ・ 改正高年齢者雇用安定法の施行を踏まえ、70 歳までの雇用機会確保を可能とするため、嘱託職員及びパート職員の雇用年齢を延長する等の就業規則の改正を行った。
- ・ 「育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）」の改正に合わせ、育児・介護休業等に関する規則など関連する規則の整備を行った。

7 理事会・評議員会

- ・ 理事会を 7 回、評議員会を 3 回開催した。詳細は、令和 7 年度会議・行事及び研修会等経過報告書のとおり。

8 監事監査

- ・ 現金監査、決算監査及び中間監査を実施した。詳細は、令和 7 年度会議・行事及び研修会等経過報告書のとおり。

9 設備投資（法人全体に及ぶもの）

（単位：円）

購入設備	数量	単価	金額	備考
篠ノ井施設クーリングタワー 冷却塔モーター修理ほか	一式	3,671,800	3,671,800	
篠ノ井施設非常用照明器具 LED 化	一式	2,860,000	2,860,000	居住棟、作業 棟、管理棟、 食堂棟の一部

10 その他

- ・ 篠ノ井施設の建物劣化度調査を基に、中期的な改修基本計画の作成に着手した。

II ワークサポート篠ノ井 障害者支援施設

区 分	定 員	計 画	実 績
施設入所支援	30 人	18 人	15.8 人/月
生活介護	30 人	43 人	39.2 人/月
就労継続支援 B 型	20 人	20 人	19.2 人/月
短期入所	2 人	—	延べ 189 人

- ・ インフルエンザ予防接種実施をはじめとする感染対策を実施。職員研修等を行うとともに、感染状況に応じて入所利用者の外出・外泊制限に協力いただいた。通所利用者にも注意喚起を行った。
- ・ ワークミーティングで情報共有や生産性向上を推進。研修参加・OJT による人材育成に取り組んだ。
- ・ 篠ノ井地区民協障害福祉部会・南部特別支援教育担当者会の見学、中学生の職場体験の受入れ、篠ノ井ふくしまつりへの出店参加を行った。

1 施設入所支援

- ・ 入所事業一元化に向けた検討を行い、令和 10 年 3 月までの一元化実施計画（案）を作成した。
- ・ 実施計画（案）に基づき入所利用者の意向調査を実施した。意向に沿って支援を行っていく。
- ・ 令和 7 年度に義務化された地域連携推進会議を、9 月 25 日ハートフル五明と合同で開催した。
- ・ 令和 8 年度に義務化される「地域移行等確認等に関する指針」を策定した。

2 生活介護

(1) 日中活動

- ・ 利用者の適性にあった生産活動を提供し、利用者の作業技術の継承にも取り組んだ。
- ・ 養護学校の見学や実習希望者に積極的に対応し、体験学習の中学生等も受け入れた。
- ・ 長野県障がい者福祉センターの出張スポーツ教室を継続して実施した。

(2) 生活面

- ・ 支援の質を向上させるため、各種マニュアルの見直しを行った。
- ・ 支援員・看護師・栄養士が連携し、健康状態や生活環境の維持・改善に向けた支援を継続した。
- ・ 口腔内の衛生保持の必要性について啓発を行った。

3 就労継続支援 B 型

(1) 生産活動

- ・ 利用者の欠席もあったが、作業量を確保して工賃の維持・向上に努めた。
- ・ 新たな発注に対応するために作業方法を改善するなどの支援を行った。
- ・ 利用者増に対応するため備品購入等により環境整備を行った。

(2) 生活面

- ・ 感染症対策も行いながら、利用者一人一人の適性に応じて安全に作業ができるように支援した。

4 短期入所

- ・ 入所施設への感染症等の影響を避けるため、感染状況に応じて利用を受入れた。
- ・ 家族の介護負担軽減などの目的を確認し、利用者の状況に応じた支援を行った。

5 保健

(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止（入所利用者）

- ・ 嘱託医の月 1 回の診察と年 1 回の結核検診、2 年に 1 回の心電図検査を行った。
- ・ 必要に応じて血液検査等各種検査を行った。

(2) 状況にあった支援

- ・ 高齢化や障害の重度化に伴う健康状態の変化を把握し、必要な支援を行った。
- ・ スキンケアが習慣化し、乾燥性皮膚炎等皮膚トラブルが減少した。
- ・ 支援員・栄養士・看護師で情報を共有し健康の維持に努めた。

(3) 口腔ケア（入所利用者）

- ・ 歯科衛生士と連携をとり、情報を共有できた。
- ・ 利用者個々の口腔内ケアの現状を把握し、担当支援員・看護師で情報共有を行った。
- ・ 口腔内の健康維持の必要性を理解してもらうことで定期的歯科検診が定着した。

(4) 感染症対策

- ・ 健康チェックを毎日行った。
- ・ 職員が感染症対策の知識を習得し、研修等で対応の確認を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症などの知識を習得・情報収集し、研修やマニュアル等の見直しを行い、発生時の対応に備えた。
- ・ マスクの常時着用を奨励し、手洗い・うがいの徹底と、アルコール消毒を有効活用した。
- ・ ワクチンの有効性を理解してもらい、インフルエンザのワクチン接種を実施した。新型コロナウイルスワクチンについては、対象者を中心に接種を実施した。

(5) 医療ケア

- ・ ケアの目的と必要性及び外部の助言等を看護師と支援員で共有し、安全確実に実施できた。

6 給食

(1) 楽しく温かい食事

- ・ 嗜好や季節感を取り入れた食事を提供した。

(2) 身体状況による適切な栄養ケア

- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有し、療養食の提供又は中止を嘱託医に提案するなど、生活全般の中で個別に食を通じた支援を実施した。
- ・ 療養食の必要性と内容について随時説明して提供した。
- ・ 必要に応じて咀嚼や嚥下機能等に配慮した食事を提供した。

(3) 満足度の高い食事

- ・ 嗜好調査を兼ねた個別面談を随時実施した。
- ・ 選択食の日を設け、事前にメニューを掲示するなど、食事に興味が湧くような献立表、掲示板作りを工夫し、栄養情報を発信した。

(4) 感染症対策

- ・ 衛生管理の徹底を委託事業者に指示し、食中毒や感染症を防止した。

(5) 非常災害時対策

- ・ 期限が到来する備蓄水の入替を行った。非常食の取扱い等について職員間で情報共有を行った。

(6) 委託事業者との連携

- ・ クックチル導入を踏まえ、定期的なミーティングの中で食品衛生、個別対応などの確認を行った。

7 レクリエーション・行事

- ・ インフルエンザ等の感染状況を踏まえながら行事を実施した。
- ・ お花見
- ・ コロリンピック（ミニミニ運動会）
- ・ あゝ夏休み（VR映像体験、ペットボトルボーリングなど）入所利用者
- ・ ワーク☆フェス（児童合唱、キッチンカーなど）
- ・ ホットケーキを作ろう
- ・ 新年会（書初め・福引ほか）
- ・ 春の行事（寿司バイキング・スイーツ）入所利用者

8 設備投資

（単位：円）

購入設備	数 量	単 価	金 額	備 考
非常照明器具（LED 化） 【再掲】	一式	1,754,500	1,754,500	作業棟、食堂棟、 ワーク居住棟等

9 利用者実績等

【利用者数】

*平均利用率：当期は定員 30 人、前期は定員 40 人で算出

区 分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所 支援	延べ利用者数	5,644 人	6,769 人	△1,125 人	83.4%
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100.0%
	平均利用者数	15.5 人/日	18.5 人/日	△3.0 人/日	83.8%
	平均利用率	51.7%	46.3%	5.4 ㊦	—
生活介護	延べ利用者数	8,454 人	9,068 人	△614 人	93.2%
	開所日数	239 日	239 日	0 日	100.0%
	平均利用者数	35.4 人/日	37.9 人/日	△2.5 人/日	96.4%
	平均利用率	101.1%	94.8%	6.3 ㊦	—
就労継続 支援 B 型	延べ利用者数	3,674 人	3,581 人	93 人	102.6%
	開所日数	239 日	239 日	0 日	100.0%
	平均利用者数	15.4 人/日	15.0 人/日	0.4 人/日	102.7%
	平均利用率	77.0%	75.0%	2.0 ㊦	—
短期入所	延べ利用者数	189 人	88 人	101 人	214.8%
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100.0%
	平均利用者数	0.5 人/日	0.2 人/日	0.3 人/日	250.0%
	平均利用率	25.0%	10.0%	15.0 ㊦	—

【売上高】

(単位：円)

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
生活介護	4,035,639	5,100,000	79.1%
		4,722,040	85.5%
就労継続支援 B 型	8,395,060	8,000,000	104.9%
		7,019,954	119.6%

【工賃】

(単位：円)

区 分		当期実績	前期実績	増減額	前期比
生活介護	総額	3,856,888	4,206,941	△350,053	91.7%
	平均月額	10,240	9,126	1,114	112.2%
就労継続 支援 B 型	総額	6,654,400	5,385,771	1,268,629	123.6%
	平均月額	35,714	29,433	6,281	121.3%

【苦情受付】

受付件数	内 容	処理結果
なし		

Ⅲ ハートフル五明 障害者支援施設

区分	定員	目標 利用者数	実績
施設入所支援	30 人	21 人	19.5 人/月
生活介護	30 人	21 人	19.5 人/月

- ・ サービスの安定的な提供のため、人材を確保した。
- ・ 入所の一元化に向けてサービス提供体制の検討を続けた。

1 日常生活上の支援

(1) 介護

- ・ 利用者ニーズを把握し、ニーズに応じた、適切な介護サービスを提供した。
- ・ 適切な介護技術で介護を行うため、研修に参加した。

(2) 入浴

- ・ 利用者ニーズに応じた介助機器（特殊浴槽）を使用し、安心・安全な入浴の提供を行った。
- ・ 入浴介助は週に2回以上を基本とし、必要に応じて清拭、シャワー浴、着替えを行い、清潔を保持した。

(3) 機能維持訓練

- ・ 口腔機能維持のため、歯科検診・通院・口腔嚥下体操の支援を継続した。
- ・ 医療機関の理学療法士と連携し、身体機能維持訓練を行った。

(4) 通院付き添い

- ・ 日々のバイタルチェックや顔色など状態の変化に気を付け、看護師と連携して対応した。
- ・ 通院等の協力依頼をできる保護者の方にはお願いした。

2 日中活動の支援

- ・ 感染症対策を行い、小人数・短時間で取り組める日中活動を提供した。

3 保健

(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 嘱託医の月1回の診察と年1回の結核検診、2年に1回の心電図検査を行えた。
- ・ 必要に応じて血液検査等を行えた。

(2) 口腔ケア

- ・ 協力指定医による歯科健診を年2回行えた。
- ・ 歯科医師、歯科衛生士からの助言のもと口腔内の衛生保持に努められた。
- ・ 口腔体操やストレッチを習慣化させ、嚥下機能の低下による誤嚥性肺炎の予防に努められた。

(3) 状況にあった支援

- ・ 高齢化や障害の重度化に伴う健康状態の変化を把握し、必要な支援を行えた。

- ・ 嘱託医と相談し、必要に応じて療養食の見直しを行えた。
- ・ 支援員、栄養士、看護師が情報を共有する事が出来た。

(4) 感染症対策

- ・ 新型コロナウイルス感染症やその他の感染症の知識を習得・情報収集し、また研修等で対応の確認を行い発生時の対処に備えることが出来た。
- ・ ワクチン接種の有効性を理解してもらい、インフルエンザワクチン接種、必要に応じてコロナワクチン接種を推奨することができた。
- ・ 手洗い・手指消毒を徹底して行い、自らが感染源とならないよう普段よりしっかりとした感染予防対策を行う事ができた。

(5) 医療ケア

- ・ ケアの目的と必要性及び外部専門家の助言等を支援員間で共有し、安全確実に実施することが出来た。

4 給食

(1) 楽しく温かい給食

- ・ 嗜好や季節感を取り入れた食事を、適時適温で提供した。

(2) 身体状況による適切な栄養ケア

- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有した。
- ・ 体調・口腔状態の変化に伴う食事形態の変更は各職種と協議し提供した。
- ・ 身体、活動状況を再確認し、個々の栄養所要量の見直しに着手した。

(3) 満足度の高い食事

- ・ 嗜好調査を兼ねた個別面談を行った。
- ・ 利用者の要望を踏まえ、創作活動としておやつレクを実施した。
- ・ 食事に興味が湧くような献立表、掲示板作りを工夫し、栄養情報を発信した。

(4) 食中毒・感染症対策

- ・ 衛生管理を徹底し、感染症を予防した。
- ・ 厨房エアコンの不具合による調理室内の温度上昇を抑える為、また、調理員の熱中症対策の為スポットクーラーを導入した。

(5) 非常災害時対策

- ・ 防災訓練に合わせて、備蓄食アルファ米の炊き出し訓練を行った。

(6) 委託業者との連携

- ・ クックチル導入による献立内容、寮の調整に随時連携を図った。
- ・ クックチルが導入されたが、今までと変わりなく療養食、代替食の個別対応を行った。
- ・ 定期的なミーティングを行い、課題解決できた。

5 行事

- ・ 新型コロナウイルス感染症他、感染症の発生状況を見極めて実施の可否を判断し、開催の時期・規模・形態を検討して実施した。
- ・ 春の行事（お花見）（肉弁当祭り）

- ・ 付添外出
- ・ 夏の行事（かき氷）
- ・ 忘年会
- ・ ハローアニマル（動物ふれあい）
- ・ 創作活動（各種季節の行事）

6 設備投資

（単位：円）

購入設備	数 量	単 価	金 額	備 考
非常照明器具（LED 化） 【再掲】	一式	1, 105, 500	1, 105, 500	食堂棟、ハート居住棟等

7 利用者実績

【利用者数】

* 平均利用率：当期は定員 30 人、前期は定員 40 人で算出

区 分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所 支援	延べ利用者数	6, 973 人	7, 204 人	-231 人-	96. 8%
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100%
	平均利用者数	19. 1 人/日	19. 7 人/日	- 0. 6 人/日	97. 0%
	平均利用率	63. 6%	49. 3%	14. 3 ポイント	—
生活介護	延べ利用者数	5, 165 人	5, 322 人	- 157 人	97. 0%
	開所日数	269 日	269 日	0 日	100%
	平均利用者数	19. 2 人/日	19. 8 人/日	- 0. 6 人/日	97. 0%
	平均利用率	64. 0%	49. 5%	14. 5 ポイント	—

Ⅳ はあてい若槻 多機能型事業所

区分	定 員	計 画	実績
生活介護	15 人	11 人	8.8 人/月
就労継続支援 B 型	25 人	28 人	27.3 人/月

- ・ 生活介護の利用状況を考慮し、定員を 16 名から 15 名に変更した。
- ・ 個別支援計画を基に必要なサービスを提供した。
- ・ 利用者の意思を尊重し、活動により日々の生活が充実するよう支援した。
- ・ 職員研修を積極的に行い、支援技術とサービスの質を向上するよう努めた。

1 生活介護

- ・ 利用者の体調やペースに合わせて作業を提供し、利用者の作業意欲向上に努めた。
- ・ 創作的活動は利用者の希望を取り入れて行い、日々の生活を充実するよう努めた。
- ・ 月 2 回音楽療法の実施予定だったが先生の体調不良のため実施できない月もあった。

2 就労継続支援 B 型

- ・ 利用者が日々の仕事にやりがいや達成感を感じられるような作業を提供した。
- ・ 利用者の作業技術の習得及び向上を支援した。
- ・ 取引事業者と連携し、安定した作業量を確保した上で更なる工賃アップを図った。

3 保健

- ・ 利用者の体調の変化に気を付け、早めの対応や対処を行うことで感染症の蔓延予防に努めた。
- ・ 感染症に対する最新の情報を共有し、その時々に応じた対応を行った。

4 レクリエーション・行事

利用者のリフレッシュのため、次のレクリエーション及び行事を行った。

- ・ 春のレクリエーション
- ・ 夏至祭
- ・ 秋のランチ
- ・ 新年会
- ・ 土曜日レクリエーション（土曜開所日に実施）

5 設備投資

LED 化改修計画について検討し、財団法人森村豊明会に助成金申請を行ったが不採用だった。

6 利用実績

【利用者数】

区 分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
生活介護	延べ利用者数	1,858 人	2,012 人	△154 人	92.0%
	開所日数	251 日	249 日	2 日	100.8%
	平均利用者数	7.4 人/日	8.0 人/日	△0.6 人/日	92.5%
	平均利用率	49.3%	50.0%	△0.7 ポイント	—
就労継続 支援 B 型	延べ利用者数	5,393 人	5,462 人	△69 人	98.7%
	開所日数	251 日	249 日	2 日	100.8%
	平均利用者数	21.5 人/日	21.9 人/日	△0.4 人/日	98.1%
	平均利用率	86.0%	87.6%	△1.6 ポイント	—

【売上高】

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
生活介護	136,372	200,000	69.8%
		174,735	80.0%
就労継続支援 B 型	4,533,334	5,240,000	84.7%
		4,289,086	103.6%

【工賃】

区 分		当期実績	前期実績	増減額	前期比
生活介護	総額	123,468	158,920	△35,452	77.7%
	平均月額	1,318	1,324	△6	99.5%
就労継続支援 B 型	総額	4,161,300	3,930,340	230,960	105.9%
	平均月額	15,622	12,304	3,318	127.0%

V 長野福祉工場 就労継続支援A型事業所

区 分	定 員	計 画	実 績
就労継続支援A型	40	40	38.6人/月

1 賃金向上計画(実績)

項 目	年間売上高	年間賃金総額	平均月額賃金
目 標	495,720,000 円	89,262,000 円	186,000 円
実 績	502,323,565 円	82,756,938 円	178,664 円

※法定福利費（社会保険料、労働保険料の法人負担分）を除いた支給額

※平均月額賃金=賃金総額÷12月÷平均登録者数 38.6人/月

- ・ 賞与の支給率を前年度の年間 0.6 月（期末 0.5、期末 0.1）から、年間 1.4 月（期末 0.8、年末 0.6）に引き上げ、県の最低賃金の引き上げにも対応したが、賃金総額、平均月額賃金が計画を下回った。
- ・ 年間売上高が計画を上回り、就労支援事業が大幅な黒字となったため、工賃変動積立金 901 万 2 千円を積み立てて、将来の賃金上昇に備える財源を確保することができた。

2 印刷事業

項 目	売上高	加工高
目 標	315,440 千円	146,000 千円
実 績※	302,352 千円	144,056 千円

※印刷、縫製事業間の内部取引含む。

(1) 営業活動

- ・ 障害者優先調達推進法・障害者多数雇用条件枠での官公庁調達物件について、受注量は微増、適正価格で受注できた。
- ・ 昇華転写製品の受注は減少見込みであるため、商品開発を一時中断した。
- ・ 同業他社との連携により、他社からの受注が順調に増加している。
- ・ デジタルコンテンツ制作の受注が順調に増加している。

(2) 制作活動

- ・ パソコン、使用ソフトの更新とデュアルモニター導入により、作業スピードがアップした。
- ・ ソフトの新しい機能やエラー発生時の対処方法等について、内部で全体研修を行った。
- ・ デジタルサイネージ用の動画を中心に受注・制作が可能になった。
- ・ チェックリストとマニュアルの見直しを行い、自己点検を意識できるようになった。
- ・ ミスがあった場合に、何が問題だったのかを具体的に共有することで、ミスを減らせた。
- ・ 全体のワークフローの見直しが余り進まず、具体的な検査ソフトの選定などの検討が進まなかった。

(3) 印刷製造

- ・ 休止していたオフセット枚葉印刷機での封筒印刷をオペレーターの負担にならないように徐々に復活させ、内製化を進めることが出来た。
- ・ 封筒印刷用のインクジェット印刷機導入について、適度な補助金が無く検討が進まなかったが、オペレーター不足やカラー印刷の仕事の需要等があるので引き続き検討をしていく。
- ・ 新規導入した三方断裁機について、研修・マニュアル作成を行い、繁忙期にはフル稼働したことにより、断裁担当者の残業が減少し、経費削減に役立った。

(4) 生産管理

- ・ 営業課員の伝票の不備等を的確に処理することで、営業課員が営業活動に集中できるようサポートすることが出来た。
- ・ 業務改善報告等で各課の問題を共有化し、業務の効率化やミスの削減に繋げることが出来た。
- ・ 外注印刷代、紙代を考慮して最適な付合せ印刷を行い、又用紙を一括発注して、経費を削減出来た。
- ・ 取引先からの制作業務や仕分け作業を受注出来ていたが、繁忙期に重なってしまったことにより、閑散期の作業としての作業量の確保に繋がらなかった。

3 縫製事業

項 目	売上高	加工高
目 標	180,280 千円	76,516 千円
実 績※	204,304 千円	95,303 千円

※印刷、縫製事業間の内部取引含む。

(1) 営業活動

- ・ 資材費、労務費、原燃料費販売の上昇分を販売価格へ適切に反映させることができた。
- ・ 2色刷を1色刷に変更を提案するなど原価低減に取り組み、併せて販売価格の見直しについても交渉を行った。
- ・ 外注先が令和7年12月に廃業することとなったため、従前より取引のある外注先へプリント業務を移管することができた。

(2) 縫製製造

- ・ GPS ポケット付ゼッケンの受注増が先送りとなった。なお、令和8年4月に受注増が確定し、令和8年6月より約1.3倍の受注増となる見込みである。
- ・ GPS ポケット付ゼッケンの仕様変更は、①マジックテープを高結合カタイプへ変更、②以前の仕様（横型ポケット）へ変更、の2点となり、ミシン業者へミシン設定の変更を依頼するとともに、作業工程を従前の工程へ戻した。
- ・ 製品の見本作製及び型紙の更新について、計画的に取り組むを進めた。

4 福祉事業

(1) 支援課職員としての役割と支援技術の向上

- ・ 支援課会議において、支援事例の共有や支援の質の向上を目的とした意見交換、合理的配慮の検討等を行い、支援課職員としての役割の確認と支援技術の向上を図った。
- ・ サービス管理責任者による OJT を通じて実践的な支援スキルの向上に取り組んだ。

(2) 支援の専門性の向上

- ・ 支援課会議内や復命書を通じて伝達研修を実施するとともに、障害福祉に関連する法令や制度、各種情報の共有を行った。
- ・ 社会福祉士を 2 名、職場適応援助者（ジョブコーチ）を 1 名取得するなど、資格取得の促進に取り組むとともに、内部研修・外部研修や各種セミナーへ積極的に参加し、見識を広げ、福祉専門職として専門性の向上を図った。

(3) 利用者の確保、利用率の向上、仕事量の確保

- ・ ハローワークを活用した求人募集や見学の受け入れに加え、就労支援事業所及び学校からの見学にも対応し、利用者数の確保と関係機関との連携を図った。
- ・ 利用者への声掛けや面談、業務量の調整、関係機関との連携を通じて、利用者が継続して当事業所を利用できるよう努めた。
- ・ 各取引先から、制作や仕分けなどの作業を積極的に受注し、閑散期の作業量の確保に努めた。
- ・ 愛知県で開催された第 45 回全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）兼国際アビリンピック派遣選手選考会に当事業所から 3 名が参加するなど、利用者の技能向上に向けて、積極的に取り組んだ。

(4) 健康保持の支援

- ・ 看護師による健康相談を行った。
- ・ 年 1 回、定期健康診断を行った。検診車で受診できない利用者への支援を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染症予防対策を行った。

5 設備投資等

購入設備等	数量	単価	金額	備考
パソコン（制作用）	4	301,400	1,205,600	win11 への更新
パソコン（制作サポート用）	2	127,127	254,254	win11 への更新
三方断裁機（オプション付き）	1	11,165,000	11,165,000	清水基金助成 7,900,000 円
本縫いミシン	1	319,000	319,000	更新
配送車両（貨物バン）	1	3,156,440	3,156,440	日産キャラバン（中古車）
勤怠管理システム	1	1,144,000	1,144,000	アマノタイムプロ
トイレ改修（ウォッシュレット）	4	322,850	1,291,400	男子トイレ 2 か所 女子トイレ 2 か所

トイレ改修（ウォッシュレット）	2	228,800	457,600	縫製工場男子トイレ1か所 女子トイレ1か所
エアコン	1	597,080	597,080	営業課室
エアコン	1	465,190	465,190	サポート室
エアコン	2	137,720	275,440	4階男子休憩室、女子更衣室
エアコン	1	351,530	351,530	CTP 室
タイムレコーダー	2	176,000	352,000	更新
印刷室防火壁工事	1	462,000	462,000	補修工事
障害者総合支援法 対応版ソフト	1	241,560	241,560	ほのぼの more
コニカオンデマンド印刷機	1	15,543,000	15,543,000	長野市就労施設 ICT 機器 導入補助金 1,500,000 円

【売上高】

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印 刷	302,352 千円	315,440 千円	95.9%
		297,264 千円	101.7%
縫 製	204,304 千円	180,280 千円	113.3%
		214,772 千円	95.1%

※印刷、縫製事業間の内部取引含む。

【加工高】

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印 刷	144,056 千円	146,000 千円	98.7%
		138,684 千円	103.9%
縫 製	95,303 千円	76,516 千円	124.6%
		92,413 千円	103.1%

【賃金】

区 分	当期実績	前期実績	増減額	前期比
賃金（総額）	82,756,938 円	78,754,455 円	4,002,483 円	105.1%
賃金（平均額）	※178,664 円	169,146 円	9,518 円	105.6%

※82,756,938 円 ÷ 12 月 ÷ 平均登録者数 38.6 人月

【利用者数】

区 分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数 (A)	8,157 人	8,250 人	△93 人	98.9%
開所日数 (B)	240 日	239 日	1 日	100.4%
1 日の平均利用者数 (A/B=C)	34.0 人/日	34.5 人/日	△0.5 人/日	99.5%
平均利用率 (C/40)	85.0%	86.3%	△1.3 割	—

Ⅵ 地域生活支援センターコロニー 共同生活援助（グループホーム）

区分	定員	計画	実績
うわのほ〜む	2	2	2.0 人/月
グループホームせはらだ	4	3	3.0 人/月

- ・ 利用者と地域との関係づくり等のため、地域連携推進会議を開催した。
- ・ 各グループホームのバックアップは、サービス管理責任者、管理者で行ったが、非効率な支援体制であったため、バックアップ支援体制の見直しが必要であった。
- ・ 利用者ニーズを把握し、意見に沿った個別支援計画を策定し必要なサービスを提供した。
- ・ 利用者が安心して充実した生活が送れるように、世話人会議を開催し情報を共有した。
- ・ 地区の行事に参加しながら、地域に根付いた施設になるように支援した。
- ・ 感染症に対する最新の情報を共有し、その時々に応じた対応を行った。

Ⅶ あいくる 相談支援事業所

【利用状況】

区 分				当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	計画相談支援	特 定	サービス利用支援	105 人	113 人	-8 人	92.9%
			モニタリング	274 人	291 人	-17 人	94.1%
		児 童	サービス利用支援	7 人	7 人	0 人	100%
			モニタリング	13 人	13 人	0 人	100%
		地域相談支援 一般・地域移行支援			3 人	6 人	-3 人
障害支援区分認定調査				0 人	0 人	0 人	0%

- ・ 相談支援専門員のスキルアップのため、長野市障害福祉ネットに参加した。
- ・ 人材育成のため、相談支援事業の体制を考え、新任職員 1 名を育成した。

VIII すまいる 放課後等デイサービス事業所・障害児自立サポート事業所

- ・ サービス開始前及び終了後にミーティングを行い、支援者間で情報の共有や振り返りを行い、個別支援計画に沿った支援を実施した。サービス提供中も支援者間の情報共有に努め、支援の連携を図った。
- ・ 保護者面談・保護者会を実施し、ニーズの把握と保護者間の情報交換を実施した。
- ・ 利用者の理解を得て感染症対策に取り組み、感染予防と事業の継続に努めた。
- ・ ガイドラインに沿って保護者向け評価等を行い、調査結果をホームページで公表した。

【放課後等デイサービス利用状況】

区 分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	2,591 人	2,500 人	91 人	103.6%
開所日数	251 日	249 日	2 日	100.8%
平均利用者数	10.3 人/日	10.0 人/日	0.3 人/日	103.0%
平均利用率	103.0%	100.4%	2.6 割	—

【障害児自立サポート 利用状況】

区 分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	83 人	52 人	31 人	159.6%

【設備投資】 なし

令和 7 年度 会議・行事及び研修会等経過報告

1 役員会等

(1) 理事会

年月日	議 題 等	場 所
7. 5. 21	第 1 回理事会 議案第 1 号 はあてい若槻（指定生活介護事業）運営規程の一部改正 議案第 2 号 令和 6 年度資金収支補正予算書（第 7 号） 議案第 3 号 令和 7 年度資金収支補正予算書（第 1 号） 議案第 4 号 火災保険契約 議案第 5 号 オフセット輪転機廃止に伴う固定資産の除却 議案第 6 号 三方断裁機購入に係る指名競争入札	篠ノ井施設
7. 6. 10	第 2 回理事会 報告第 1 号 令和 6 年度職務執行状況報告 議案第 7 号 令和 6 年度事業報告 議案第 8 号 令和 6 年度決算に係る計算書類及び財産目録 議案第 9 号 令和 6 年度の社会福祉充実残額 議案第 10 号 令和 7 年度資金収支補正予算書（第 2 号） 議案第 11 号 理事・監事の選任 議案第 12 号 評議員候補者の推薦 議案第 13 号 評議員選任・解任委員会の招集 議案第 14 号 苦情解決第三者委員の選任 議案第 15 号 令和 7 年度定時評議員会の招集	篠ノ井施設
7. 8. 25	第 3 回理事会 議案第 16 号 理事長の選定 報告第 2 号 評議員選任・解任委員会議事録の報告 議案第 17 号 評議員選任・解任委員の選定について 議案第 18 号 三方断裁機購入契約	篠ノ井施設
7. 9. 12	第 4 回理事会 議案第 19 号 育児・介護休業等に関する規則の一部改正 議案第 20 号 指定障害者支援施設ワークサポート篠ノ井運営規程の一部改正 議案第 21 号 指定障害者支援施設ハートフル五明運営規程の一部改正 議案第 22 号 経理規程の一部改正 議案第 23 号 施設職員の処遇改善手当支給基準の一部改正 議案第 24 号 自家用小型貨物自動車購入に係る指名競争入札 議案第 25 号 オンデマンド印刷機の購入契約 議案第 26 号 令和 7 年度資金収支補正予算書（第 3 号）	篠ノ井施設

7. 10. 22	第 5 回理事会 議案第 27 号 自家用小型貨物自動車購入に係る契約について	篠ノ井施設
7. 11. 12	第 6 回理事会 報告第 3 号 令和 7 年度職務執行状況報告 報告第 4 号 令和 7 年度中間決算報告 議案第 28 号 社会福祉法人ながのコロニー嘱託職員及びパート職員就業規則の一部改正 議案第 29 号 定款細則の一部改正 議案第 30 号 令和 7 年度資金収支補正予算書（第 4 号） 議案第 31 号 令和 7 年度第 2 回評議員会の招集	篠ノ井施設
8. 3. 11	第 7 回理事会 報告第 5 号 火災保険の契約先変更 報告第 6 号 定期預金に設定した質権の解除 議案第 32 号 令和 8 年度事業計画書 議案第 33 号 令和 8 年度資金収支予算書 議案第 34 号 令和 7 年度資金収支補正予算書（第 5 号） 議案第 35 号 社会福祉法人ながのコロニー職員就業規則の一部改正 議案第 36 号 社会福祉法人ながのコロニー嘱託職員及びパート職員就業規則の一部改正 議案第 37 号 社会福祉法人ながのコロニー給与規程の一部改正 議案第 38 号 篠ノ井施設照明器具 LED 化事業（賃貸借契約）の一般競争入札 議案第 39 号 参与の推薦 議案第 40 号 令和 7 年度第 3 回評議員会の招集	篠ノ井施設

(2) 評議員会

年月日	議 題 等	場 所
7. 6. 25	第 1 回評議員会 報告第 1 号 令和 6 年度事業報告 議案第 1 号 令和 6 年度決算に係る計算書類及び財産目録 議案第 2 号 理事及び監事の選任	篠ノ井施設
7. 11. 20	第 2 回評議員会 報告第 2 号 令和 7 年度中間決算報告	篠ノ井施設
8. 3. 23	第 3 回評議員会 報告第 3 号 令和 8 年度事業計画書及び令和 8 年度資金収支予算書の報告	長野市ふれあい福祉センター

(3) 評議員選任・解任委員会

年月日	内 容 等	場 所
7. 6. 23	第 1 回評議員選任・解任委員会 議案第 1 号 評議員の選任	篠ノ井施設

(4) 監査会

年月日	内 容 等	場 所
7. 4. 1	前年度期末における現金・手形及び現在高監査	篠ノ井施設 長野福祉工場
7. 5. 27	決算監査	篠ノ井施設
7. 5. 29	決算監査	長野福祉工場
7. 11. 7	中間決算監査	篠ノ井施設 長野福祉工場

2 法人内会議及び行事等

年月日	会議・行事等	場 所
定期開催	経営会議(月 1 回)	篠ノ井施設・長野福祉工場(交互開催)
	施設運営会議(月 1 回)	篠ノ井施設
	安全衛生委員会(月 1 回)	長野福祉工場
	衛生委員会(月 1 回)	篠ノ井施設・はあてい若槻
	感染対策委員会(3 か月に 1 回)	篠ノ井施設・はあてい若槻
	職員会議(月 1 回)	篠ノ井施設 はあてい若槻
	支援課会議(月 1 回)	長野福祉工場
	部課長会議(月 1 回)	長野福祉工場
	嘱託医による診察(月 1 回)	篠ノ井施設・はあてい若槻
	歯科口腔健診(年 2 回)	ハートフル五明
	土曜レクレーション(2 か月に 1 回程度)	はあてい若槻
	音楽療法(月 2 回)	はあてい若槻
不定期開催	ワークサポート篠ノ井 サンアップルによる出張スポーツ教室(年 4 回)	篠ノ井施設

7.4.9	ハートフル五明 春のレクリエーションお花見 (利用者 14 名)	篠ノ井施設
7.4.10	ワークサポート篠ノ井 春のレクリエーションお花見 (利用者 46 名)	篠ノ井施設
7.4.11	はあてい若槻 春のレクリエーションお花見 (利用者 27 名、職員 6 名)	松代城跡公園
7.4.20	ながのコロニー後援会 監査会・総会	篠ノ井施設
7.5.2	ゼンコロ国際交流事業説明会	オンライン
7.5.23	春の防災訓練	篠ノ井施設
	ゼンコロ国際交流事業国際 mtg	オンライン
7.5.28	ハートフル五明 春の行事お弁当祭り (利用者 19 名)	篠ノ井施設
	臨時運営会議	篠ノ井施設
7.5.30	春の防災訓練	若槻施設
7.6.4	虐待防止委員会	篠ノ井施設
7.6.17	塩崎分署による消防設備等立入検査	篠ノ井施設
7.6.18	ハートフル五明 お菓子レク「噴水フルーツポンチ」 (利用者 20 名)	ハートフル五明
7.6.20	はあてい若槻 夏至まつり (利用者 36 名、職員 13 名)	はあてい若槻
7.6.24	指名競争入札 (三方断裁機)	長野福祉工場
7.7.1	全国安全週間 ～7 日	篠ノ井施設・若槻施設
7.7.11	ワークサポート篠ノ井 春の行事「コロリンピック」 (利用者 41 名、職員 15 名)	南長野運動公園体育館、篠ノ井施設
	アビリンピック広報啓発活動として DPT 競技のデモンストレーション (利用者 1 名、職員 2 名)	ポリテクセンター鹿児島
7.7.12	第 51 回ながのアビリンピック (利用者 2 名、職員 1 名)	ポリテクセンター長野
7.7.17	ワークサポート篠ノ井・ハートフル五明参議院議員通常選挙不在者投票 (希望者のみ)	篠ノ井施設
	臨時運営会議	篠ノ井施設
7.7.30	入所利用者結核健診	篠ノ井施設
7.8.6	ハートフル五明 夏の行事「かき氷を作り食べよう」 (利用者 17 名)	ハートフル五明
7.8.10	ワークサポート篠ノ井 夏の行事「あゝ夏休み。」 (利用者 15 名、職員 6 名)	ワークサポート篠ノ井

7. 8. 11	すまいる夏祭り (利用児 21 名、保護者 55 名、職員 6 名)	すまいる
7. 9. 6	災害時連絡訓練	篠ノ井施設・若槻施設
7. 9. 7	ワークサポート篠ノ井 篠ノ井福祉まつり出店	篠ノ井総合市民センター広場
7. 9. 17	ハートフル五明 お菓子レク「クレープ」(利用者 18 名)	ハートフル五明
7. 9. 25	地域連携推進会議(ワークサポート篠ノ井、ハートフル五明)	ワークサポート篠ノ井 ハートフル五明
7. 9. 28	防災訓練	うわのほ〜む
	上野区自主防災訓練	昭和の森公園
7. 10. 1	全国労働衛生週間 ～7 日	篠ノ井施設・若槻施設
7. 10. 8	秋の防災訓練	若槻施設
7. 10. 15	秋の防災訓練	篠ノ井施設
7. 10. 17	防災訓練	グループホームせはらだ
	第 45 回全国アビリンピック(利用者 3 名、職員 3 名)	愛知県国際展示場
7. 10. 22	ワークサポート篠ノ井・ハートフル五明 長野市長選挙不在者投票(希望者のみ)	篠ノ井施設
	臨時経営会議	はあてい若槻
7. 10. 23	地域連携推進会議(地域生活支援センターコロニー)	はあてい若槻
7. 10. 24	長野福祉工場 産業フェア in 信州出店 ～25 日	ビッグハット
7. 10. 25	はあてい若槻 秋の行事「秋のランチ会」 (利用者 20 名、職員 8 名)	石焼ステーキ贅
7. 10. 27	職員定期健康診断(はあてい若槻・長野福祉工場職員)	長野福祉工場
	はあてい若槻利用者健康診断(希望者のみ)	長野福祉工場
7. 11. 4	インフルエンザワクチン予防接種(入所利用者)	篠ノ井施設
7. 11. 12	職員定期健康診断(篠ノ井施設職員) ～28 日 (4 日間に分かれて実施)	篠ノ井施設、長野県健康づくり事業団
7. 11. 18	コロナワクチン予防接種(入所利用者のうち 65 歳以上の方および希望者)	篠ノ井施設
7. 11. 22	ワークサポート篠ノ井 秋季行事「ワーク フェス」 (利用者 41 名、保護者 25 名、催し物関係者約 140 名 職員 15 名)	篠ノ井施設

7. 11. 26	心電図検査（入所利用者）	篠ノ井施設
	ゼンコロ版アビリンピック（利用者 2 名、職員 2 名）	オンライン
7. 12. 17	ハートフル五明忘年会（利用者 19 名）	篠ノ井施設
7. 12. 23	長野市一般指導監査（法人本部）	篠ノ井施設
7. 12. 24	長野市一般指導監査（長野福祉工場）	長野福祉工場
7. 12. 29	ワークサポート篠ノ井「ホットケーキを食べよう」（利用者 46 名）	篠ノ井施設
8. 1. 21	ハートフル五明動物ふれあい行事（利用者 17 名）	篠ノ井施設
8. 1. 23	ワークサポート篠ノ井新年会（利用者 50 名）	篠ノ井施設
	はあてい若槻新年会（利用者 27 名、職員 10 名）	ホテルテラスグランツ
8. 2. 4	ワークサポート篠ノ井・ハートフル五明 衆議院議員総選挙不在者投票（希望者のみ）	篠ノ井施設
8. 2. 5	人事審査会	篠ノ井施設
	虐待防止委員会	篠ノ井施設
8. 2. 18	ハートフル五明豆まき（利用者 20 名）	ハートフル五明
8. 2. 19	すまいる保護者会	篠ノ井施設
8. 3. 7	ながのコロニー後援会 役員会	篠ノ井施設
8. 3. 11	ハートフル五明冷食祭り（利用者 20 名）	篠ノ井施設
8. 3. 18	ワークサポート篠ノ井お寿司バイキングとスイーツ （利用者 16 名）	篠ノ井施設

3 研修会・講習会等

年月日	研修会・講習会・説明会名	場 所
定期開催	理学療法士によるハートフル五明職員への技術指導 （月 1 回）	篠ノ井施設
7. 5. 8	JAGAT オンライン生産性支援訓練「DTP デザイナー基本講座」 ～9 日	オンライン
7. 5. 13	長野経済研究所 実務セミナー 「仕事の段取り タイムマネジメントセミナー」	ホテルブエナビスタ
	視察研修	長野養護学校
7. 5. 14	視察研修 2 名	ハーモニー福祉会
7. 5. 22	長野県経営協 福祉経営セミナー 4 名	JA 長野県ビル

7.5.28	介護、障がい福祉現場での生産性向上ビギナーズセミナー	長野市生涯学習センター
7.5.29	長野県セルフセンター協議会研修会	長野市生涯学習センター
7.6.3	長野県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎修 〓13日 (延べ7日間)	長野県伊那文化会館 他
7.6.5	人材育成担当者向け 新人育成担当者研修 4名 (延べ2日間)	JA 長野県総合研究所
7.6.10	長野市手をつなぐ育成会学習会	長野市ふれあい福祉センター
7.6.12	障害者虐待防止・権利擁護研修会 4名	長野市役所
	社会保険制度説明会 2名	ホクト文化ホール
7.6.13	災害時緊急対応研修会	オンライン
7.6.17	人権講演会	長野市役所
7.7.1	安全運転管理者等講習会	若里市民文化ホール
7.7.2	長野県相談支援従事者初任者研修 〓10/2 (延べ7日間)	長野県伊那文化会館 他
7.7.4	長野県セルフセンター協議会北信ブロック研修会 「県工賃向上計画 2024」 2名	長野上水内教育会館
7.7.10	動力プレスの金型調整の業務に係る特別教育(学科) 4名	中野地域職業訓練センター
7.7.15	刈払機取扱作業者講習会 2名	長野県自治会館
7.7.16	会計入門セミナー	長野商工会議所
7.7.18	キャリアパス制度構築基礎研修 〓8/29 (延べ2日間)	長野県自治会館
	メンタルヘルス研修会 篠ノ井施設職員 ※2日間で合計4回に分けて実施	オンライン
7.7.22	長野県経営協 福祉経営セミナー	長野ターミナル会館
7.7.28	衛生管理者第一種免許試験対策講習会 〓30日 (延べ3日間)	長野地域職業訓練センター
7.7.29	特定給食施設等従事者研修会	オンライン
	虐待防止研修会 若槻施設職員 ※2回に分けて実施	はあてい若槻
7.7.30	安全運転管理者等講習会	若里市民文化ホール
	虐待防止研修会 篠ノ井施設職員 ※2回に分けて実施	篠ノ井施設

7. 8. 6	Vineland-Ⅱ 適応行動尺度研修会	長野県総合教育センター
	長野経済研究所 実務セミナー 「アンガーマネジメント&アサーションセミナー」	長野ターミナル会館
7. 8. 7	介護分野での外国人材活用セミナー	松本市勤労者福祉センター
7. 8. 19	長野経済研究所 実務セミナー 「部課長 意識行動変革セミナー」	長野ターミナル会館
	人権講座「障害者の人権」	長野市役所
7. 8. 21	長野産業保健総合支援センター主催 メンタルヘルス不調者の職場復帰支援（リワーク支援）	オンライン
7. 8. 22	全国社会福祉法人経営青年会主催セミナー	オンライン
7. 8. 27	発達障がい児者における医療と教育と福祉の合同研修会 6 名	オンライン
7. 8. 28	JAGAT オンラインセミナー「クリエイターのための生成 AI マインドセット」	オンライン
7. 9. 4	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修） ～5 日 （延べ 2 日間）	オンライン
7. 9. 5	事業主・公正採用選考人権啓発推進員研修会（北信地区労働フォーラム）	ホクト文化ホール
7. 9. 9	長野県経営協セミナー（前期） 4 名	シャトレゼホテル 長野
7. 10. 2	関東社会就労センター協議会研究大会	犀北館
7. 9. 10	長野産業保健総合支援センター主催 職場のメンタルヘルス基礎研修第 3 講セルフケア	オンライン
	国勢調査調査員説明会	もんぜんぶらざ
7. 9. 11	長野県相談支援従事者現任研修 ～11 月 6 日 （延べ 4 日間）	浅間温泉文化センター
7. 9. 16	長野市ふくしネット 地域の就労支援力向上のためのスキルアップ研修会	長野市東部文化ホール
7. 9. 18	事業主・公正採用選考人権啓発推進員研修会（北信地区労働フォーラム）	ホクト文化ホール
	感染症対策研修 若槻施設職員 ※3 回に分けて実施	はあてい若槻 長野福祉工場
7. 9. 25	長野産業保健総合支援センター主催 心理的安全性を育むためのコミュニケーション	鈴正ビル

7. 9. 26	管内保健医療福祉関係者等研修会（感染症対策）	長野市保健所
	感染症対策研修 篠ノ井施設職員 ※2 日間で合計 4 回に分けて実施	オンライン
7. 9. 29	ハラスメント研修会 若槻施設職員 ※2 回に分けて実施	はあてい若槻 長野福祉工場
7. 10. 2	関東社会就労センター協議会研究大会 2 名	長野ホテル犀北館
7. 10. 8	苦情対応システム研修会	ホクト文化ホール
7. 10. 10	相談支援専門員・サービス管理責任者・児童発達支援 管理責任者専門コース別研修（意思決定支援） 2 名	浅間温泉文化センター
7. 10. 16	長野県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 更新研修 ～17 日 （延べ 2 日間）	ホクト文化ホール
	TimePro-NX 年末調整オンライン説明会 ～11/6 （延べ 2 日間）	オンライン
7. 10. 17	社会福祉法人経営者協会 北関東・信越ブロック協議 会セミナー	エテルナ高碕
7. 10. 22	障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市生涯学習セン ター
7. 10. 23	長野県身体障害者施設協議会 直接処遇職員研修会 ～24 日 2 名	長野県立リハビリテ ーションセンター
7. 10. 24	放課後等デイサービス支援力向上研修 2 名	にじいろキッズらいふ
7. 10. 27	長野市相談支援専門員スキルアップ研修 2 名	長野市中部公民館
7. 10. 31	LITALICO 仕事ナビセミナー 「遅刻・欠席・離席などを繰り返す行動への支援術」	オンライン
7. 11. 6	福祉職員生涯研修 新任管理者課程	JA 長野県総合研究所
7. 11. 11	栄養士・調理職員研修会	しいのみ療護園
	動画ビジネス、受注と制作の基本 ～12/9 (延べ 2 日間)	オンライン
7. 11. 19	労務管理改善リーダー研修会 ～11/26 (延べ 2 日間)	長野県合同庁舎
7. 11. 21	長野経済研究所研修教室 若手社員ブラッシュアップ	八十二別館
	長野県印刷工業組合「Adobe Firefly 活用解説セミナー」	オンライン
7. 11. 25	長野県身体障害者施設協議会 事務職員研修会	すわ湖のほとり
7. 11. 27	長野県栄養士会福祉事業部研修会	オンライン
7. 11. 28	障がい者虐待防止・権利擁護研修	長野県庁

7. 11. 28	工賃向上計画セミナーⅡ 2名	オンライン
7. 12. 3	外国人介護人材受入支援セミナー	JA 長野県ビル
7. 12. 4	ハラスメント研修会 篠ノ井施設職員 ※2回に分けて実施	篠ノ井施設
7. 12. 9	長野経済研究所 実務セミナー「管理職のための業績が劇的に上がる強いチームの作り方」	八十二別館
	年金委員・健康保険委員合同研修会	ホクト文化ホール
7. 12. 11	ゼンコロリーダー層職員研修会 ～12日（延べ2日間） 2名	中野区中部すこやか福祉センター
7. 12. 16	福祉職員生涯研修 新任職員課程 ～17日（延べ2日間） 2名	長野県自治会館
8. 1. 9	長野県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実践研修 ～2/27（延べ4日間）	浅間温泉文化センター
8. 1. 20	社会福祉施設長資格認定講習スクーリング ～24日（延べ5日間）	ロフォス湘南
8. 1. 26	災害担当企画委員会研修会「ブロック内における受援体制の強化」	JA 長野県ビル
8. 1. 27	個別支援計画作成研修	浅間温泉文化センター
8. 1. 31	JC-NET ジョブコーチ養成研修 訪問型職場適応援助者養成研修 ～2/16（延べ6日間）	オンライン・大妻女子大学
8. 2. 1	発達障害・精神障害のある方の就労支援～制度と現場をつなぐ実践勉強会	長野保健医療大学
8. 2. 4	福祉職員生涯研修 中堅職員課程 ～5日（延べ2日間） 2名	ホクト文化ホール
8. 2. 9	人権研修会	オンライン
8. 2. 17	雇用保険適用照合省略事業所事務担当者研修会	篠ノ井交流センター
	感染症対策研修 長野福祉工場職員	長野福祉工場
8. 2. 18	甲種防火管理新規講習 ～19日	長野市生涯学習センター
8. 2. 27	障害者虐待防止・権利擁護研修会 2名	長野市生涯学習センター
8. 3. 4	相談業務担当者のリスクマネジメント	オンライン
	社会福祉トップセミナー	信州大学工学部
8. 3. 10	障害者雇用納付金制度事務説明会 2名	ホテル信濃路

8.3.11	長野県経営協セミナー（後期） 2名	ホテル信濃路
8.3.16	就労選択支援の最前線と未来	オンライン

4 福祉現場実習・研修受入状況

年月日	実習・研修名	場 所
5～6月	稲荷山養護学校更級分教室校外学習 (延べ2日間) 5/9、6/20	篠ノ井施設
7.5.12	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部3年生)～23日(延べ10日間)	ワークサポート篠ノ井
7.5.29	職場訪問学習5名(篠ノ井西中学校2年生)	篠ノ井施設
7.6.3	現場実習1名(長野養護学校高等部3年生) ～6日(延べ4日間)	はあてい若槻
	現場実習1名(長野養護学校高等部3年生) ～11日(延べ7日間)	はあてい若槻
7.6.6	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部2年生)～9日(延べ2日間)	ワークサポート篠ノ井
7.6.9	職場実習1名(若槻養護学校高等部3年生)～12日 (延べ4日間)	長野福祉工場
7.6.16	職場実習1名(若槻養護学校高等部2年生)～20日 (延べ3日間)	はあてい若槻
7.6.19	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部2年生)～25日(延べ5日間)	ワークサポート篠ノ井
7.7.29	利用体験(ワークサポート篠ノ井利用希望者)	ワークサポート篠ノ井
7.8.18	利用体験(ワークサポート篠ノ井利用希望者) ～19日(延べ2日間)	ワークサポート篠ノ井
7.8.20	利用体験(ワークサポート篠ノ井利用希望者)	ワークサポート篠ノ井
7.8.28	利用体験(ワークサポート篠ノ井利用希望者)	ワークサポート篠ノ井
7.9.8	利用体験(ワークサポート篠ノ井利用希望者)	ワークサポート篠ノ井
7.9.9	利用体験(ワークサポート篠ノ井利用希望者) ～11日(延べ3日間)	ワークサポート篠ノ井
7.9.18	利用体験(ワークサポート篠ノ井利用希望者) ～19日(延べ2日間)	ワークサポート篠ノ井
7.10.9	職業体験2名(篠ノ井西中学校)～10日(延べ2日間)	ワークサポート篠ノ井
7.10.15	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部3年生)～28日(延べ10日間)	ワークサポート篠ノ井

7. 10. 22	福祉の職場体験 2 名（屋代高等学校附属中学校） ～23 日（延べ 2 日間）	ワークサポート篠ノ井
7. 10. 23	利用体験（はあてい若槻利用希望者） ～24 日（延べ 2 日間）	はあてい若槻
7. 10. 30	産業現場等における実習 1 名（稲荷山養護学校高等部 2 年生）～31 日（延べ 2 日間）	ワークサポート篠ノ井
7. 11. 5	現場実習 1 名（長野養護学校高等部 3 年生） ～14 日（延べ 8 日間）	はあてい若槻
7. 11. 6	産業現場等における実習 1 名（稲荷山養護学校高等部 2 年生）～7 日（延べ 2 日間）	はあてい若槻
7. 11. 10	現場実習 1 名（長野養護学校高等部 2 年生） ～18 日（延べ 4 日間）	はあてい若槻
7. 11. 12	現場実習 1 名（長野養護学校高等部 2 年生） ～14 日（延べ 3 日間）	はあてい若槻
7. 12. 1	職場実習 1 名（信大附属特別支援学校高等部 1 年生） ～2 日（延べ 2 日間）	はあてい若槻
8. 3. 26	利用体験（ワークサポート篠ノ井利用希望者）	ワークサポート篠ノ井

5 視察・見学受入状況

年月日	団 体 名 等	人数	場 所
7. 6. 10	祥雲高等学院/アットマーク国際高等学校 3 年 生、職員	2	長野福祉工場
7. 6. 13	長野養護学校高等部 1 年生	20	はあてい若槻
	長野養護学校 生徒	1	長野福祉工場
7. 6. 17	長野養護学校高等部 1 年生、職員、保護者	13	はあてい若槻 長野福祉工場
7. 7. 14	介護老人保健施設ほのぼの、酒井医療	6	ハートフル五明
7. 7. 19	信濃町議会議員	7	長野福祉工場
7. 7. 28	南部支会特別支援教育担任者会	20	篠ノ井施設
	長野養護学校 生徒、職員	3	はあてい若槻
7. 7. 30	長野養護学校 職員	5	はあてい若槻
7. 8. 22	長野市民生児童委員協議会障害者福祉部会	15	篠ノ井施設
7. 8. 26	信州大学教育学部附属特別支援学校 生徒、 職員	3	はあてい若槻
7. 8. 28	稲荷山養護学校高等部 職員	2	はあてい若槻

7. 10. 24	長野市保健福祉部	3	篠ノ井施設・若槻施設
7. 10. 29	新任評議員	2	篠ノ井施設・若槻施設
7. 11. 5	長野保健医療大学 生徒	1	ワークサポート篠ノ井
7. 11. 26	稲荷山養護学校高等部 生徒、職員	37	ワークサポート篠ノ井
8. 2. 4	self-A わごころ長野 職員	1	長野福祉工場
8. 2. 6	若槻養護学校中学部 2 年生、職員、保護者	13	はあてい若槻 長野福祉工場
8. 3. 17	ひだまり中川 役員、職員	3	長野福祉工場